

経済常任委員会調査報告書

1 調査事項

つくばみらい市内の主要道路整備等状況調査

2 目的

市内の主要道路等の整備状況を一体的に視察して進捗状況や実態を調査し、委員会における専門性を向上させることにより、これからの市の発展に寄与するものである。

3 調査概要

【第1回調査】

実施日 平成28年7月27日（水）

出席者 委員6人，事務局職員，建設課長及び担当職員

調査内容 陽光台及び小張地内の県道野田牛久線バイパス，谷井田地内の県道取手つくば線の整備進捗状況を調査

調査結果 県道野田牛久線バイパスは，TX みらい平駅から板橋不動尊を通過し，県道取手つくば線バイパスへ接続する延長2.3km区間である。板橋地区周辺ではTX利用者が増加してから，朝夕の交通量も増加し渋滞が著しく通学の子どもの安全確保がいち早く必要となること。また，伊奈東地区の市道地区幹線3号線整備が平成29年度未完了により，伊奈東地区住民のTXみらい平駅までの交通利便性を高めるものであり，地区幹線3号線との接続区間約580mの整備は特に重要とのことから，茨城県へ道路整備促進の要望書を平成28年第3回議会定例会において発議し可決された。

【第2回調査】

実施日 平成28年11月22日（火）

出席者 委員5人，事務局職員，建設課長及び担当職員

調査内容 東櫛戸台線，守谷・小絹線の進捗状況を調査

調査結果 東櫛戸台線は，現地調査時は表層工の施工中であった。なお，平成29年1月23日にみらい平地区から県道赤浜谷田部線（旧国道354号）までの2.9km区間が開通している。

守谷小絹線は，3工区に分けて工事を実施。現在は社会資本整備総合交付金を活用し整備を行っている。整備済み区間は，TX車両基地から筒戸までの1工区770m，及び2工区の一部500mである。用地買収済みは71%，平成28年度は3工区の延長176m地盤改良工事が実施されていた。

【第3回調査】

実施日 平成29年2月16日（木）

出席者 委員6人，事務局職員，建設課長及び担当職員

調査内容 歩道整備基本計画の整備状況

調査結果 平成27年度から「歩道整備基本計画」に基づき，短期5年以内・中期10年以内・長期に分けて歩道整備を実施している。これまでに短期整備を進め，イメージランプや路面表示，狭さく等を設置している。施工後に実施した「住民アンケート調査」の結果では，施工箇所での自動車の速度低下などにより，約7割の方が安心を実感している。平成28年度は全体計画146箇所中40箇所が完了している。短期計画71箇所中28箇所53.5%が完了している。平成31年度には歩道計画の見直しも行われる。

4 まとめ

本委員会では，現在着工中の市内道路整備状況の現地視察，歩道整備事業の進捗や整備状況など計3回の道路整備に関する調査を行った。

市道及び県道の整備進捗状況を把握し，平成28年10月17日に茨城県知事へ県道野田牛久線整備の要望書を市議会として提出し，また，歩道整備では，様々な施工方法により安全性などの効果が上がったことを調査・確認することができた。

しかしながら，道路や歩道整備においては，危険箇所，工事未完了箇所があることから，早期の整備を望むものであり，完了工期を延滞することなく実施することを求める。また，今後も必要が生じた場合には調査を行っていく。